

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域で子どもを育てる元気づくり
事業主体 (連絡先)	岡谷市岡谷区 (0266-22-2603)
事業区分	⑧その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	652,065円 (うち支援金: 435,000円)

事業内容

・子ども元気ルームを2年目も開設して、子供が気軽にいつも立ち寄れる場所を作り開放したが、更に環境面の整備では図書を増やしたり、ルーム活用のためのルールやゆずり合いの心を持ってほしいと指導実践した。

・参加をPRは、年間を通じて伝統文化や自然との共同型事業を組み込んで、区の回覧や子ども会育成会、学校を通じて岡谷区内の子どもに案内を出して、同時に親や家族の参加も盛り込み、いっしょに協力頂く中で事業を円滑に進めた。



【農業体験教室】

【目標・ねらい】

- ①居場所づくりの充実
- ②区内の子どものまとまり
- ③伝統文化や地域の自然を学ぶ
- ④親子の絆を強める

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

・事業をサポートする大人(サポーター)は延250人以上目標をほぼ達成出来た。

・子ども元気ルームは延べ1,380人/開放日数346日(1日当たり4人)、平日以外に土日・祝日も子ども元気ルームを開放して、利用者増に繋がった。

・10事業の延べ人員は576名で子ども参加は延人員332名と目標には届かなかったが、親の事業に対する意識付けをさらに発信して行く必要があると認識した。

※自己評価【 B 】

【理由】

地域で子ども元気サポートが理解されて来て、子どもルームの安心な場所としての存在や事業への子どもと親の参加者が増えて来た。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

子どもを取り巻く環境は、小中学生でも受験や塾等の習いもの等で、多くの時間をとられており、少子化の中で、期待される子どもは忙しい中で、いろいろなことをこなしているが、ホッと一息出来る安心な場所を維持継続して、時には仲間と一緒に楽しめる事業を続けていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある